

本年度の校内研究・研修の進め方

研究主題

ことば輝く学校生活をめざして

～生きて働く言語活動の創造～

領域・教科 国語・総合ほか

* 大津市教育研究所研究指定

(1) 主題設定の理由

本校では、ここ数年、子どもたちの伝え合う力を育てたいということで「話す」「聞く」力を中心とするコミュニケーション能力向上に努めてきた。その指導の工夫の一つとして、短時間で続けて取り組めるエクササイズをつくり、さわやかタイム等を利用して実施してきたり、授業研究を実施したりしてきた。その結果、少しずつではあるが子どもたちにも浸透し定着してきており、その成果がみられるようになってきた。しかしながら、子どもたちの姿には個人差が大きく、また興味関心の度合いによって定着しにくい部分も見られた。

本年度は大津市教育研究所より研究指定をいただいたので、これを好機ととらえ指導者自身の授業改善に積極的に取り組みたい。教科は国語科だけにとらわれることなく、教科の枠を広げ、研究を進めていきたいと思う。日々の生活における発表の機会を増やしながら、喜んで取り組み、場に応じた言語活動ができる子どもを育てたいと考える。

(2) 研究内容

- ・ 学年研究を主体とする。
- ・ 各学年とも国語科、総合学習をはじめとする取り組みの中に基礎基本となるエクササイズやトレーニングの実践を取り入れ、その積み重ねを踏まえた研究授業を位置づけ、授業公開し合う。
- ・ エクササイズやトレーニングを実践する中で補充や修正などを行い、完成度を高めていく。
- ・ 効果的な教材教具・資料を開発し残していく。
- ・ 「話す」「聞く」「書く」「伝え合う」に関わる評価基準を設定し適切な評価の仕方について研修する。

(3) 過去5年間の研究主題及び指定校歴

- ①平成14年度 先進的ネットワークモデル事業
授業モデル：一人ひとりの学習力を育てる授業・子どもの力を引き出す指導の工夫
- ②平成15年度 先進的ネットワークモデル事業
授業モデル：喜んで取り組み、自信をもって「話す」「聞く」ことができる子どもを目指して・・・国語科の学習や日々の活動から
- ③平成16年度 先進的ネットワークモデル事業
授業モデル：国語科エチュードタイムカリキュラムづくり
・・・言葉を通して理解する力、表現する力を育てる→「伝え合う力に」
- ④平成17年度 先進的ネットワークモデル事業
授業モデル：「話す力」「聞く力」などの基本的な力を基にした「話し合う力」の育成
・・・国語科を中心とした日々の活動を通して
- ⑤平成18年度 授業モデル：ことば輝く教室をめざして・自信をもって伝え合う子ども

(4) 研究・研修計画

月	校内研究	職員研修
4月	・授業づくり部会 ・職員会議で研究の進め方等提案	・情報教育伝達講習会
5月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・校内研究会全体会	・心肺蘇生法講習・スクールガードの役割 ・人権、国際理解教育学習会
6月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・不審者対策、防災対策研修会 ・子どもを語る会（第1回）
7月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・エンカウンター研修・国語等教科研修会 ・教科等実技研修会
8月	・授業づくり部会、研究推進委員会	・地域フィールドワーク
9月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・スクールガード研修会
10月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・特別支援教育研修会
11月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・子どもを語る会（第2回）
12月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・情報教育研修会
1月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・授業研究会	・スクールガード研修会 ・総合的な学習研修会
2月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・研究発表大会・研究のまとめ	・子どもを語る会（第3回）
3月	・授業づくり部会、研究推進委員会 ・職員会議で年度研究計画（全体会）	・研究集録づくり

(5) 校内研究体制の概要

○**エトワール**（**エクササイズ、トレーニング、ワーク、ルール**）を合い言葉に基礎基本を積み上げ、さらなる実践及び授業研究を実施していく。

- ・ 学年部会が問題提起と実践研究をする中心的な場となるが、校内生活全般の場面においても研究を進め、その対象としていく。研究推進委員会で充分練り上げていく。
- ・ 全体会のやり方を工夫し、誰もが充分に意見を出し合い検証していける研究会を設定していく。
- ・ 各専門部は、各領域の内容や授業の進め方について事前に提案していく。

○研究推進委員会は、校長・教頭・教務部と各学年部の研究推進委員、各種専門部の代表が参加し幅広く論議できる体制をとる。

- ・ 担任外も各学年部に所属し、事前授業や検証授業に参加しながら議論に加わる。
- ・ 研究推進委員は学年研究の計画・立案・推進を積極的に推し進めると共に、全体研究会をリードしたり研究通信などを発行したりし、広報活動に努める。
- ・ 年度末に研究発表大会を実施し、本校の研究実践を外部にも提案していき、大津市教育研究所の活動に寄与する。

(組織)

